

ウィーン 美術史美術館 所蔵 静物画の秘密展

2008年10月7日(火) ▶ 12月14日(日)

開館時間＝午前9時30分～午後5時まで(発券は4時30分まで)

休館日＝月曜日、10月14日(土)、11月4日(土)、11月25日(土)

●ただし10月13日(土)、11月3日(土)、24日(土)は開館

観覧料＝一般1200(1100)円、大学・高校生800(700)円、小・中学生500(400)円

()内は20名以上の団体料金

宮城県美術館 The Miyagi Museum of Art
〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1



ディエゴ・ベラスケス 《薔薇色の衣裳のマルガリータ王女》 1653/54年頃
©Kunsthistorisches Museum Wien, Gemäldegalerie, Vienna

EVENT



Museum Lobby Concert

ロビーコンサート ■午後3時30分～午後4時30分 ■エントランスホール 入場無料

～音楽の都ウィーン～宮廷文化の華、音の彩り

10月18日(土) — 透き通る歌声にのせて

〈曲目〉●ヘンデル：オペラ「セルセ」より「オン・ブラ・マイブ」
●J.S.バッハ：「結婚カンタータ」BWV202より「フォーブスは早馬に乗って」他

11月 8日(土) — 魅惑のバロックダンス

〈曲目〉●グルック：メヌエット
●モーツァルト：コルトンダンス 他

11月22日(土) — リコーダー～癒しの音色～

〈曲目〉●ヤコブ・ファン・アイク：「笛の楽園」より
●ヤン・ピーテルスゾーン・スウェーリンク：涙のパヴァー
●ヨハン・ヤーコブ・フローベルガー：ローマ王フェルディナンド4世の悲しき死に寄せる哀歌

Museum Lecture

講演会 ■午後2時～ ■アートホール 入場無料

10月26日(日) — 聖と俗のあいだ—オランダ美術の魅力

〈講師〉尾崎彰宏(東北大学教授)

12月 7日(日)

— ハプスブルク宮廷文化の精華—ウィーン美術史美術館の全貌

〈講師〉佐藤勝則(東北大学教授)

展示解説 ■午後2時～ ■2階展示室

10月11日(土)

11月 1日(土)・15日(土)・29日(土)

〈解説〉当館学芸員 要観覧券

European Still-Life Painting
from the Kunsthistorisches Museum Wien

●主催 宮城県美術館 ミヤギテレビ

●お問い合わせ 宮城県美術館 TEL.022-221-2111 <http://pref.miyagi.jp/bijyutu/museum/>
ミヤギテレビ事業局 TEL.022-215-7700 <http://www.mmt-tv.co.jp/wien/>

Museum Lobby Concert

ロビーコンサート

～音楽の都ウィーン～宮廷文化の華、音の彩り

10月18日(土) — 透き通る歌声にのせて —

ちょうどオーストリアでハプスブルグ家が栄えた時代…隣国ドイツでは二人の大作作曲家、バッハとヘンデル(共に1685年生まれ)が活躍しておりました。そんな二人の作品をとり上げながら、皆さまも一度は耳にしたことのあるメロディを交えてみました。バロック音楽を身近に感じていただければ幸いです。

〈出演者〉田原さえ(チェンバロ) 広瀬奈緒(ソプラノ)
バロック・アンサンブル 飯塚 大(バロックヴァイオリン) 桜井孝夫(ヴィオラ・ダ・ガンバ)
広瀬妙子(バロックヴァイオリン) 大越由美子(フラウト・トラヴェルソ)
成沢 恵(ヴィオラ)

11月8日(土) — 魅惑のバロックダンス —

栄華を誇るハプスブルグ家の記憶と共に、今もウィーンの街に美しい佇まいを誇るシェーンブルン宮殿。女帝マリア・テレジアの時代、神童モーツァルトが御前演奏し、皇女マリア(後のフランス王妃 マリー・アントワネット)に求婚した微笑ましいエピソードが残っています。当時流行のメヌエットやコントルダンスをはじめ、ハプスブルグ家とブルボン家、両宮廷に流れた楽の音に思いを馳せるコンサートです。

〈出演者〉市瀬陽子(バロックダンス) 田原さえ(チェンバロ)
バロック・アンサンブル 飯塚 大(バロックヴァイオリン) 桜井孝夫(ヴィオラ・ダ・ガンバ)
広瀬妙子(バロックヴァイオリン) 大越由美子(フラウト・トラヴェルソ)
他

11月22日(土) — リコーダー～癒しの音色～ —

ハプスブルグ家の宮廷でオルガニストを務めたJ.J.フローベルガーの作品や、17世紀初頭にフランドル地方で活躍していた作曲家による作品を中心に、リコーダーとチェンバロの演奏をお聴きいただけます。この時代の絵画の中に、しばしば登場するリコーダー。まるで400年前に描かれた世界の中に迷い込んだような、ゆっくりとした時間の中でのひとときをお楽しみください。

〈出演者〉デュオ Ut/Fa: 宇治川朝政(リコーダー) 福岡 彩(チェンバロ)

■今回使用するチェンバロ

木村雅雄 製作 フレンチ・チェンバロ(2008年) モデル: H.エムシュ 1756, パリ

Museum Lecture

講演会



10月26日(日)

— 聖と俗のあいだ—オランダ美術の魅力—

講師 尾崎 彰宏

東北大学大学院文学研究科教授(美学・西洋美術史)
専門はネーデルラント美術
主要著書:「レンブラント、フェルメールの時代の女性たち」(小学館 2008年) 「レンブラントのコレクション」(三才社 2004年) 他



12月7日(日)

— ハプスブルグ宮廷文化の精華
—ウィーン美術史美術館の全貌—

講師 佐藤 勝則

東北大学大学院文学研究科教授(ヨーロッパ史)
専門はハプスブルグ帝国に関する社会経済文化史の研究
主要著書:「ハプスブルグ帝国紀行」(共同印刷 2004年)
「オーストリア農民解放史研究」(多賀出版 1992年) 他

プロフィール



田原 さえ
(チェンバロ)

仙台市出身のピアニスト。武蔵野音楽大学大学院、モーツァルテウム音楽大学大学院修了。ソロだけでなく歌曲伴奏や室内楽でも演奏活動を展開。「仙台パッサゼミナール」主催。昭和音楽大学、尚絅大学女子短期大学部、常盤木学園高等学校講師。



市瀬 陽子
(バロックダンス)

立教大学、東京芸術大学卒業。ルネッサンスからバロック、ロココに至る時代の舞踊と音楽について研究し、舞台演出、執筆活動、講座・講演など精力的に取り組む。聖徳大学准教授、東京芸術大学講師、昭和音楽大学バレエ研究所研究員。



広瀬 奈緒
(ソプラノ)

宮城学院女子大学音楽科、英国王立音楽大学大学院修了。ブルージュ国際古楽コンクールで名誉奨励賞を受賞するなど数々のコンクールで受賞。現在、バロック音楽の歌手として、東京を中心に演奏・CD録音など幅広く活躍中。

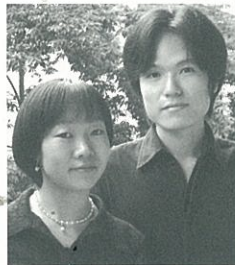


バロック・
アンサンブル

田原さえ氏の呼びかけで在仙の古楽器愛好家が集まり2003年に結成。田原氏プロデュースの企画「クラシック・フォー・ユー～バロック編～」で市瀬陽子氏のバロック・ダンスの伴奏

を勤める。以来、両氏の合同プログラムの度に共演を重ねている。

飯塚 大 (バロックヴァイオリン) 桜井 孝夫 (ヴィオラ・ダ・ガンバ)
広瀬 妙子 (バロックヴァイオリン) 大越 由美子 (フラウト・トラヴェルソ)



デュオ Ut/Fa:
宇治川 朝政(リコーダー)

桐朋学園大学卒業。ハーグ王立音楽院修士課程修了。パリ国立高等音楽院にて室内楽を専攻する。ブルージュ国際古楽コンクールソロ部門第2位受賞など数々のコンクールにおいて上位入賞している。

福岡 彩(チェンバロ)

桐朋学園大学およびアムステルダム音楽院にてチェンバロを専攻する。またパリ国立高等音楽院にて室内楽を専攻する。第19回古楽コンクール<山梨>チェンバロ部門最高位受賞。併せて栃木「蔵の街」音楽祭を受賞。

